

令和6年度事業計画

公益財団法人 滋賀県国際協会

1 基本方針

世界のグローバル化、ボーダレス化が進展する中であって、現在、SDGsに代表されるように、環境や貧困、多様性の尊重など、地球規模の課題に県民一人ひとりが向き合う姿勢が求められている。

当協会では、令和3年度から5年間の第3期中期計画のテーマとして「共感から実践へ」を掲げた。世界とのつながりを意識し、持続可能で、多様性と包摂性のある豊かさを実感できる社会の実現を目指し、行政、地域、組織、企業、個人等が協働し、多文化共生や国際理解を深め活躍できる場づくりやネットワークづくり、人材育成を行い、それぞれの実践につなげるような展開へと広げる。そのためのツールの一つとして、ポストコロナ時代におけるICTの活用も進めていく。

今年度は、県内における「国際感覚に優れた人づくり」、「多文化共生の地域づくり」、「情報収集・提供による環境づくり」、「ボランティア、民間団体の活動促進」を推進するため、地域国際化協会として適切な役割を果たすことができるよう、広域的、専門的な課題解決に向けて諸事業に取り組んでいく。

2 事業計画

(1) 地域での国際教育の推進

多文化共生やSDGsの視点を取り入れた連続セミナーを、次世代を担う若者の人材育成を目的に実施する。また、子どもを含む、すべての地域住民が、地球規模の課題や地域課題の解決に向けた取組を始めることができるように、ファシリテーター（進行役）の養成やオリジナル国際教育教材の研究、普及啓発を行い、協会がコーディネーター役として、国際教育の普及、促進に努める。

(2) 国際交流の推進

ア 姉妹友好州省および友好地域との交流

姉妹友好州省やその他友好地域との交流を促進するため、使節団等の派遣・受入を行う。

イ ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営

ミシガン州立大学連合日本センターの施設管理および運営の推進業務を滋賀県から受託し、ミシガン州立大学連合日本センターの円滑なプログラム推進および滋賀県とミシガン州との文化、教育等の交流促進を図り、地域における国際交流の拠点づくりに努める。

ウ 国際交流・協力ライブチャンネルの開催

滋賀県の姉妹友好州省駐在員やJICA海外協力隊員等と協会をオンラインでつなぎ、身近に国際交流を体感できる機会を提供し、国際交流、国際協力の裾野を広げる。

(3) 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信や相談に対応する。また、海外協力隊員等と協会をオンラインでつなぎ、ライブ配信により身近に国際協力の現場を体感できる機会を提供するライブチャンネルの開催により、国際協力の裾野を広げる。

(4) 多文化共生の地域づくり

ア 外国人県民等への支援

外国人県民等のための一元的相談窓口として運営する「しが外国人相談センター」において、外国人県民

等からの様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行う。ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語およびベトナム語を含む12言語に対応する。滋賀弁護士会との連携により、法律相談を実施する。併せて、各種情報を提供するため、外国人向け情報紙を発行する。

令和5年度に引き続き、滋賀県や関係団体との連携により、滋賀県に避難されてきたウクライナ人への支援を実施する。

また、進路支援事業では、中学校卒業後の進路に関する情報を得る機会を子どもと保護者に提供する場として、「進路ガイダンス」を開催する。

イ 留学生への支援

県内の短期大学、大学および大学院に在籍する私費留学生で、経済的援助が必要と認められ、学習意欲が高く、かつ学業成績の優秀な者に対し、奨学金を支給することにより、生活の安定と学習活動を奨励する。

ウ 災害時の外国人県民等支援

滋賀県と締結した「災害時における外国人県民等支援に関する協定書」に基づき、大規模災害に備え、県および市町と連携した支援体制づくりを進める。また、大規模災害発生時に、当協会事業の運営および管理を的確かつ円滑に実施するため、BCP（事業継続計画）の検証を所内訓練を通して行う。

エ 多文化共生によるまちづくり

多文化共生に関する情報提供および相談対応、県内各地で実施される多文化共生事業に対して協力や支援を行う。

(5) 情報の収集および提供

県内の国際交流、国際協力に関する情報誌を発行するとともに、ホームページやFacebook、国際情報サロンを活用した情報発信を行う。

(6) 海外渡航の支援

海外の安全情報や渡航に関する情報等を県民に提供する。

(7) ボランティア活動の促進

ア 滋賀県国際協会ボランティア“S I Aボランティア”の登録および活動促進

国際交流、国際協力および多文化共生の地域づくりに関するボランティアの活動を促進する。

イ 災害時外国人サポーターの登録および活動促進

災害時通訳等の外国人サポーターの登録者の拡大および訓練等への参加を促し、支援人材の育成を行う。

(8) 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

地域に根ざした国際交流を推進するため、県民の国際交流ボランティアへの参画を促進し、滋賀県国際交流推進協議会事業を通して市民活動団体とのネットワーク強化に努める。

収 支 予 算 書

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,354	3,355	△	1
特定資産運用益	2,344	2,344		-
受取会費	2,000	2,000		-
事業収益	6,570	60		6,510
受取補助金等	67,880	68,076	△	196
受取負担金	1,210	2,235	△	1,025
受取受託金	46,275	45,371		904
受取寄付金	280	1,180	△	900
雑収益	103	3		100
経常収益計	130,016	124,624		5,392
(2) 経常費用				
事業費	122,363	129,040	△	6,677
管理費	8,154	8,171	△	17
経常費用計	130,517	137,211	△	6,694
(うち人件費)	61,487	60,926		561
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 501	△ 12,587		12,086
評価損益等計	-	-		-
当期経常増減額	△ 501	△ 12,587		12,086
当期一般正味財産増減額	△ 501	△ 12,587		12,086
一般正味財産期首残高	13,939	26,526	△	12,587
一般正味財産期末残高	13,438	13,939	△	501
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	3,182	3,183	△	1
特定資産運用益	2,510	2,510		-
一般正味財産への振替額	△ 5,698	△ 5,699		1
当期指定正味財産増減額	△ 6	△ 6		-
指定正味財産期首残高	721,923	721,929	△	6
指定正味財産期末残高	721,917	721,923	△	6
III 正味財産期末残高	735,355	735,862	△	507

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 6 年 4 月 1 日
至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 去 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	2,961	—	393	—	3,354
特定資産運用益	2,344	—	—	—	2,344
受取会費	1,000	—	1,000	—	2,000
事業収益	70	6,500	—	—	6,570
受取補助金等	60,640	408	6,832	—	67,880
受取負担金	60	1,000	150	—	1,210
受取受託金	46,275	—	—	—	46,275
受取寄付金	280	—	—	—	280
雑収益	101	1	1	—	103
経常収益計	113,731	7,909	8,376	—	130,016
(2) 経常費用					
事業費	119,910	2,453	—	—	122,363
管理費	—	—	8,154	—	8,154
経常費用計	119,910	2,453	8,154	—	130,517
(うち人件費)	53,837	1,739	5,911	—	61,487
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 6,179	5,456	222	—	△ 501
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 6,179	5,456	222	—	△ 501
他会計振替額	4,678	△ 4,678	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 1,501	778	222	—	△ 501
一般正味財産期首残高	1,501	8,170	4,268	—	13,939
一般正味財産期末残高	—	8,948	4,490	—	13,438
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	2,809	—	373	—	3,182
特定資産運用益	2,510	—	—	—	2,510
一般正味財産への振替額	△ 5,305	—	△ 393	—	△ 5,698
当期指定正味財産増減額	14	—	△ 20	—	△ 6
指定正味財産期首残高	671,368	—	50,555	—	721,923
指定正味財産期末残高	671,382	—	50,535	—	721,917
III 正味財産期末残高	671,382	8,948	55,025	—	735,355

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

(単位 千円)

設備投資の内容	支出または 収入の予定額	資金調達方法 または取得資金の用途
協会サーバー整備費用 一式	1,860	自己資金より支出

令和5年度事業報告

公益財団法人 滋賀県国際協会

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開している。令和5年度は、第3期中期計画に基づき事業を行った。

令和5年度はコロナ禍を経て、4年ぶりにミシガン州友好親善使節団の受入を再開し、滋賀県と中国湖南省との友好提携40周年記念事業に携わるなど、姉妹友好州省等との交流事業に取り組んだほか、次世代人材育成事業連続セミナーをはじめ、国際教育研修、進路ガイダンス、防災啓発事業なども計画どおり実施した。

また、ウクライナ避難民の滋賀県での生活のサポートを行う等、外国人県民等が地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに取り組んだ。

1 地域での国際教育の推進

- (1) 国際教育研究会「ぐろーかる ねっと し が が」の開催 研究会議 12回 参加者 延べ 133人
- (2) 国際教育教材体験フェアの開催 8月9日 大津市 参加者 46人
- (3) 次世代人材育成事業「多文化共生×SDGs×開発教育」の実施
7月15日、8月3日、9月10日、10月14日、11月25日、12月17日他、オプション企画5回
大津市他 参加者 19人
- (4) 国際教育ファシリテーター養成講座の開催 1月13日 大津市 参加者 18人
- (5) 国際教育オリジナル教材の貸出および販売
ア 「ブラジルボックス」の貸出13件
イ 「非識字体験ゲーム」の貸出1件、販売17件
ウ 「言葉がわからない体験ゲーム（震災編）」の販売15件
エ 「わたしち家の食事から カードゲーム版」の貸出2件、販売11件
- (6) 国際教育研修等への講師派遣 28件、延べ48人 参加者 3,232人

2 国際交流の推進

- (1) 姉妹友好州省および友好地域との交流
ア ミシガン州友好親善使節団の受入 10月19日～28日（うちホームステイ4泊5日）受入人員 37人
イ 滋賀県・湖南省友好提携40周年記念事業への参加・運営協力
- (2) ミシガン州立大学連合日本センターの管理運営
ア 施設の維持管理
イ ミシガン州立大学連合日本センター運営の支援
ア ミシガン州からの留学生を対象とした関連プログラム（日本語・日本文化講座）の運営支援
イ 県民向け英語プログラムの運営支援（近江八幡教室、彦根教室、土曜子ども英語教室等）
ウ 地域との交流プログラムの実施
エ その他プログラム（国内留学プログラム等）の運営支援
- (3) 国際交流・協力ライブチャンネルの開催 10月7日、2月17日 参加者 46人

3 国際協力の促進

独立行政法人国際協力機構（JICA）滋賀デスクの国際協力推進員と連携し、国際協力ライブチャンネルを開催するとともに、国際協力に関する情報発信や相談に対応した。

4 多文化共生の地域づくり

(1) 外国人県民等への支援

- ア しが外国人相談センターの設置 月曜日～金曜日 10:00～17:00
対応言語：ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語、ベトナム語を含む12言語 相談件数 1,499件
- イ 外国人のための手づくり情報紙「みみタロウ」の発行 年4回 10言語 20,000部/回
- ウ 相談員研修会・連絡会議の開催 11月28日、12月18日、3月21日 大津市 参加者 延べ 43人
- エ 法律相談 相談件数 9件
- オ 在留資格出張相談会の開催 10月22日 近江八幡市 相談件数 7件
- カ しがウクライナ避難民応援支援金の募集および避難民への支援
- (ア) しがウクライナ避難民応援支援金の募集 募金総額 16,743,320円（3月31日現在）
- (イ) しがウクライナ避難民への支援 受入状況 15組22人（3月31日現在）
生活支援金等支給総額 13,007,368円（3月31日現在）
- キ 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援
- (ア) 子どもへの日本語指導者養成講座 3月15日 大津市 参加者 25人
- (イ) 進路ガイダンス 10月22日 近江八幡市 参加者 53人
- ク 日本語指導者養成講座の開催（共催：びわこ日本語ネットワーク）
12月3日、12月17日 近江八幡市、野洲市 参加者 延べ79人
- ケ 災害時の外国人支援
- (ア) 災害時外国人サポーター養成講座（主催：滋賀県、共催：滋賀県国際協会）
3月3日 草津市 参加者 23人
- (イ) 近畿地域国際化協会連絡協議会災害時外国人支援研究会への参加 4回
- (ウ) 消防職員対象の研修への講師派遣 7月13日 東近江市 参加者 57人
- コ 多文化共生に関する研修等への講師派遣等 19件 参加者 362人
- (2) 留学生への支援
- 留学生への奨学金の支給 支給人員 10人 支給額 月額20,000円/人
- (3) 多文化共生によるまちづくり
- 多文化共生に関する情報提供およびアドバイス等 相談件数 109件

5 情報の収集および提供

- (1) 国際交流・協力情報誌「S I A しーあ」の発行 年3回 日本語 2,500部/回
- (2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 年12回
- (3) ホームページおよびFacebookによる情報提供
- (4) 国際情報サロンによる情報提供

6 海外渡航の支援

(1) 渡航相談、海外情報の提供

(2) パスポート用写真撮影

撮影件数 6,983件

7 ボランティア活動の促進

(1) 滋賀県国際協会ボランティア“^{しーあ}S I Aボランティア”の登録および活動促進
(通訳、翻訳、ホームビジット、ホームステイ、国際交流支援)

登録者 延べ280人

(2) 災害時外国人サポーターの登録および活動促進

登録者 137人

8 市民活動団体の支援、ネットワークの強化

(1) 滋賀県国際交流推進協議会（60団体加盟）の開催

全体会議等1回 研修会1回

(2) 国際交流推進セミナーの開催

11月15日 大津市

参加者 33人

9 基盤整備

B C P（事業継続計画）の検証を行った。

2月28日

正味財産増減計算書

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,352,666	3,352,790	△ 124
特定資産運用益	2,342,137	2,367,927	△ 25,790
受取会費	1,849,000	1,836,000	13,000
事業収益	5,065,404	43,010	5,022,394
受取補助金等	68,017,611	64,892,189	3,125,422
受取負担金	2,716,498	1,902,200	814,298
受取受託金	43,083,923	43,516,068	△ 432,145
受取寄付金	345,391	14,893,738	△ 14,548,347
雑収益	273,209	589,982	△ 316,773
経常収益計	127,045,839	133,393,904	△ 6,348,065
(2) 経常費用			
事業費	122,823,610	125,923,484	△ 3,099,874
管理費	7,955,108	8,257,501	△ 302,393
経常費用計	130,778,718	134,180,985	△ 3,402,267
(うち人件費)	60,676,441	61,535,147	△ 858,706
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,732,879	△ 787,081	△ 2,945,798
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	△ 3,732,879	△ 787,081	△ 2,945,798
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 3,732,879	△ 787,081	△ 2,945,798
一般正味財産期首残高	37,763,003	38,550,084	△ 787,081
一般正味財産期末残高	34,030,124	37,763,003	△ 3,732,879
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	3,180,232	3,180,356	△ 124
特定資産運用益	2,508,737	2,534,527	△ 25,790
一般正味財産への振替額	△ 5,694,803	△ 5,720,717	25,914
当期指定正味財産増減額	△ 5,834	△ 5,834	-
指定正味財産期首残高	722,108,276	722,114,110	△ 5,834
指定正味財産期末残高	722,102,442	722,108,276	△ 5,834
III 正味財産期末残高	756,132,566	759,871,279	△ 3,738,713

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	2,960,404	—	392,262	—	3,352,666
特定資産運用益	2,342,137	—	—	—	2,342,137
受取会費	924,500	—	924,500	—	1,849,000
事業収益	69,620	4,995,784	—	—	5,065,404
受取補助金等	60,863,416	406,343	6,747,852	—	68,017,611
受取負担金	66,498	2,500,000	150,000	—	2,716,498
受取受託金	43,083,923	—	—	—	43,083,923
受取寄付金	345,391	—	—	—	345,391
雑収益	272,734	15	460	—	273,209
経常収益計	110,928,623	7,902,142	8,215,074	—	127,045,839
(2) 経常費用					
事業費用	120,603,356	2,220,254	—	—	122,823,610
管理費用	—	—	7,955,108	—	7,955,108
経常費用計	120,603,356	2,220,254	7,955,108	—	130,778,718
(うち人件費)	53,116,735	1,578,495	5,981,211	—	60,676,441
評価損益等調整前当期経 常増減額	△ 9,674,733	5,681,888	259,966	—	△ 3,732,879
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 9,674,733	5,681,888	259,966	—	△ 3,732,879
他会計振替額	5,200,000	△5,200,000	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 4,474,733	481,888	259,966	—	△ 3,732,879
一般正味財産期首残高	23,113,384	9,902,323	4,747,296	—	37,763,003
一般正味財産期末残高	18,638,651	10,384,211	5,007,262	—	34,030,124
II 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	2,808,145	—	372,087	—	3,180,232
特定資産運用益	2,508,737	—	—	—	2,508,737
一般正味財産への振替額	△ 5,302,541	—	△ 392,262	—	△ 5,694,803
当期指定正味財産増減額	14,341	—	△ 20,175	—	△ 5,834
指定正味財産期首残高	672,754,452	—	49,353,824	—	722,108,276
指定正味財産期末残高	672,768,793	—	49,333,649	—	722,102,442
III 正味財産期末残高	691,407,444	10,384,211	54,340,911	—	756,132,566

貸 借 対 照 表

令和 6 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	32,034,607	22,987,583	9,047,024
未 収 金	1,391,822	896,313	495,509
預 託 金	11,440	11,440	-
立 替 金	261,168	165,583	95,585
流動資産合計	33,699,037	24,060,919	9,638,118
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
普 通 預 金	3,507,263	2,752,269	754,994
定 期 預 金	27,506,320	38,261,314	△ 10,754,994
投 資 有 価 証 券	394,148,797	394,321,231	△ 172,434
基本財産合計	425,162,380	435,334,814	△ 10,172,434
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	39,035,809	36,741,903	2,293,906
減 価 償 却 引 当 資 産	3,779,813	3,571,449	208,364
び わ こ 奨 学 金 基 金	300,447,325	300,280,725	166,600
び わ こ 奨 学 金 基 金 積 立 資 産	5,178,000	5,178,000	-
協 会 50 周 年 準 備 資 金 積 立 資 産	1,250,000	1,000,000	250,000
そ の 他 受 取 寄 付 金 (研 修)	202,993	674,374	△ 471,381
特定資産合計	349,893,940	347,446,451	2,447,489
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	67,483	169,620	△ 102,137
車 両 運 搬 具	1	1	-
什 器 備 品	34,542	242,906	△ 208,364
その他固定資産合計	102,026	412,527	△ 310,501
固定資産合計	775,158,346	783,193,792	△ 8,035,446
資産合計	808,857,383	807,254,711	1,602,672
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	12,980,871	10,360,828	2,620,043
預 り 金	708,137	280,701	427,436
流動負債合計	13,689,008	10,641,529	3,047,479
2 固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	39,035,809	36,741,903	2,293,906
固定負債合計	39,035,809	36,741,903	2,293,906
負債合計	52,724,817	47,383,432	5,341,385
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
寄 付 金	722,102,442	722,108,276	△ 5,834
指定正味財産合計	722,102,442	722,108,276	△ 5,834
(うち基本財産への充当額)	(421,655,117)	(421,827,551)	(△ 172,434)
(うち特定資産への充当額)	(300,447,325)	(300,280,725)	(166,600)
2 一 般 正 味 財 産	34,030,124	37,763,003	△ 3,732,879
(うち基本財産への充当額)	(3,507,263)	(13,507,263)	(△ 10,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(10,410,806)	(10,423,823)	(△ 13,017)
正味財産合計	756,132,566	759,871,279	△ 3,738,713
負債及び正味財産合計	808,857,383	807,254,711	1,602,672

貸借対照表内訳表

令和 6 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 資 産 の 部					
1 流 動 資 産					
現金預金	18,259,769	9,622,490	4,152,348	-	32,034,607
未収金	496,238	895,584	-	-	1,391,822
預託金	11,440	-	-	-	11,440
立替金	261,168	-	-	-	261,168
流動資産合計	19,028,615	10,518,074	4,152,348	-	33,699,037
2 固 定 資 産					
(1) 基 本 財 産					
普通預金	3,096,913	-	410,350	-	3,507,263
定期預金	24,288,080	-	3,218,240	-	27,506,320
投資有価証券	348,033,388	-	46,115,409	-	394,148,797
基本財産合計	375,418,381	-	49,743,999	-	425,162,380
(2) 特 定 資 産					
退職給付引当資産	34,120,993	-	4,914,816	-	39,035,809
減価償却引当資産	3,337,575	-	442,238	-	3,779,813
びわこ奨学金基金	300,447,325	-	-	-	300,447,325
びわこ奨学金基金積立資産	5,178,000	-	-	-	5,178,000
協会50周年準備資金積立資産	1,250,000	-	-	-	1,250,000
その他受取寄付金(研修)	202,993	-	-	-	202,993
特定資産合計	344,536,886	-	5,357,054	-	349,893,940
(3) そ の 他 固 定 資 産					
建物附属設備	67,483	-	-	-	67,483
車両運搬具	1	-	-	-	1
什器備品	24,870	4,145	5,527	-	34,542
その他固定資産合計	92,354	4,145	5,527	-	102,026
固定資産合計	720,047,621	4,145	55,106,580	-	775,158,346
資産合計	739,076,236	10,522,219	59,258,928	-	808,857,383
II 負 債 の 部					
1 流 動 負 債					
未払金	12,839,662	138,008	3,201	-	12,980,871
預り金	708,137	-	-	-	708,137
流動負債合計	13,547,799	138,008	3,201	-	13,689,008
2 固 定 負 債					
退職給付引当金	34,120,993	-	4,914,816	-	39,035,809
固定負債合計	34,120,993	-	4,914,816	-	39,035,809
負債合計	47,668,792	138,008	4,918,017	-	52,724,817
III 正味財産の部					
1 指 定 正 味 財 産					
寄付金	672,768,793	-	49,333,649	-	722,102,442
指定正味財産合計	672,768,793	-	49,333,649	-	722,102,442
(うち基本財産への充当額)	(372,321,468)	(-)	(49,333,649)	(-)	(421,655,117)
(うち特定資産への充当額)	(300,447,325)	(-)	-	-	(300,447,325)
2 一 般 正 味 財 産					
一般正味財産	18,638,651	10,384,211	5,007,262	-	34,030,124
(うち基本財産への充当額)	(3,096,913)	(-)	(410,350)	(-)	(3,507,263)
(うち特定資産への充当額)	(9,968,568)	(-)	(442,238)	(-)	(10,410,806)
正味財産合計	691,407,444	10,384,211	54,340,911	-	756,132,566
負債及び正味財産合計	739,076,236	10,522,219	59,258,928	-	808,857,383